



## セメント系断面修復材

## リフレグラウトG

## リフレグラウトG の特長

## 1. 充填性

材料分離やブリーディングを生じることなく、良好な粘性と流動性を兼ね備えています。

## 2. 収縮性

一般的な補修材料と比較して乾燥収縮が小さく、大断面への適用にも優れています。

## 3. 静弾性係数

静弾性係数が高く、優れた剛性を発揮します。(材齢28日：31.5 N/mm<sup>2</sup>)

## 4. 塩化物イオン浸透抵抗性

一般的なコンクリート構造物と比較して、高い遮塩性能を有しています。

## 5. 凍結融解抵抗性

凍結融解に対する抵抗性が高く、寒冷地などの厳しい環境条件下でも高い耐久性を発揮します。

## 施工要領概要

## 前準備

練混ぜ水：酸・油・有機不純物等を含まない清水。

ミキサー：ダマカットミキサーなどをご用意ください。手練りによる練り混ぜはできませんのでご注意ください。

その他：必要に応じ、モルタルポンプ、計量器、バケツ、コテなど。

清掃：打設箇所表面のレタンス・油分・ホコリなどを除去し、必要に応じてチッピング、プライマー処理などを行ってください。

## 施工

練り混ぜ：右図に従い、十分な練り混ぜを行ってください。

充填：充填条件によって自重圧・ポンプ充填などを選択します。充填は打設箇所全体で計画レベルを確保できるように連続的に行います。また、バイブレーターなどによる振動締固めは基本的には不要です。

養生：表面を濡れた布などで被い、2～3日間は湿潤状態を保って初期の乾燥を防いでください。寒中施工では、保温養生などにより初期凍害を防止してください。

## 保管

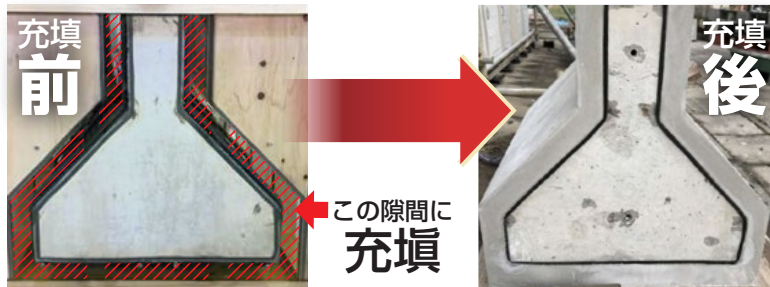
開封後はなるべく早く袋単位で使い切ってください。

屋内保管を原則とし、湿気などからなるべく遮断してください。

## 取り扱い上の注意

- 水と接触するとアルカリ性を呈し、眼、鼻、皮膚に対し、刺激性があり、眼の粘膜、鼻の内部組織、皮膚に炎症を起こす可能性があります。
- 不浸透性の保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/防塵マスクを着用してください。
- 粉じん等を吸入しないでください。
- 取扱後は手、顔をよく洗ってください。
- 使用前にSDSを入手し、ご確認ください。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。
- 屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。

## 下フランジ模擬体充填



## 標準配合

配合	リフレグラウトG	リフレシリーズ専用骨材	練混ぜ水	練り上がり量
1袋	40.8 kg (2袋)	25.0 kg (1袋)	5.46 kg (4.8～6.1kg)	約31.0 ℓ
1m <sup>3</sup>	1317 kg	807 kg	176 kg (155～197kg)	約1000 ℓ

## 物性値の一例

	試験項目	試験方法	基準値	試験結果
断面の修復に要する性能	ひび割れ抵抗性	試験法432		ひび割れは発生せず
	鉄筋背面への充填性	試験法432	有害な空隙がないこと	有害な空隙がなし
	スランプフロー	JSA1150	—	795mm
	グラウトモルタルのブリージング	JSCE-F522 ポリエチレン袋法	0.0～1.0 %	0.0 %
	グラウトモルタルの膨張率	JSCE-F522 ポリエチレン袋法	0.0～5.0 %	0.0 %
	乾燥収縮性	JSA1129-3	5×10 <sup>-4</sup> 以下 (3ヶ月)	2.62×10 <sup>-4</sup>
	熱膨張性	試験法432	2.0×10 <sup>-5</sup> /℃	1.1×10 <sup>-5</sup> /℃
耐久性に関わる性能	中性化抵抗性	試験法432	補修設計で定めた中性化速度係数と同等	中性化深さ0.0mm 中性化速度係数0.00mm/√週
	凍結融解抵抗性	試験法432	負荷後の相対動弾性係数が60%以上かつ負荷後のコンクリートと断面修復材との付着強度は1.5N/mm <sup>2</sup> 以上	相対動弾性係数 99% 引張り接着強度 2.5N/mm <sup>2</sup> (プライマー使用)
	遮塩性	試験法432	補修設計で定めた塩分拡散係数と同等	0.269cm <sup>2</sup> /年
力学的性能	圧縮強度	JSCE-G522	補修設計で定めた設計基準以上	53.6N/mm <sup>2</sup>

● 上記のデータは当社で評価した代表値であり、品質保証値ではありません。

## 練り混ぜ手順例

